

# Shirayuri

仙台白百合女子大学後援会報

No.8  
2019.3

仙台白百合女子大学後援会



## Contents

- |   |                    |   |                      |
|---|--------------------|---|----------------------|
| 2 | 学長挨拶<br>後援会会長挨拶    | 5 | 大学からの報告              |
| 3 | 部会活動報告             | 6 | 2019(平成31)年度 行事予定    |
| 4 | 事業活動報告<br>課外活動支援報告 |   | 2018(平成30)年度 理事名簿 など |
|   |                    |   | 編集後記                 |



## 学長挨拶

仙台白百合女子大学 学長 矢口 洋生



最近、大学経営のセミナーで盛んに取上げられるのは、Society5.0時代へ向けての大学教育のあり方です。Society5.0とは、2016年に日本政府が作った第五期科学技術基本計画に登場する考えです。それによると、人類は狩猟社会（Society1.0）から農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）を経て新社会（Society5.0）に突入しようとしている。それはサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を融合させて、経済を発展させつつ社会の諸課題の解決をはかる人間中心の社会なのです。すなわち、IoT（Internet of Things）によって人とモノが全面的につながり、ビッグデータによって必要な情報が十分に提供され、人工知能によってデータが個別課題のために処理され、新技術によって産業や生活が刷新された、新しい快適な社会・・・と解説されます。まるでSF映画のように聞こえるかもしれませんが、自動運転やロボット、ドローン、通信機器、ゲーム機、家電などの驚くべき発展速度を見ると、必ずしも絵空事ではありません。

このような新時代の到来に向けて私たちはどのように準備したらいいのでしょうか？ひとつは情報科学に関する研究開発と教育の充実です。専門教育や機関の充実

当然でしょうが、社会全体の刷新を考えると、教養教育においても情報科学の意義は高まることでしょう。また、個別の課題への対応にビッグデータや人工知能が使われるという新時代の性質上、学習面においても、「個別最適化された学び」が増えてくるでしょう。授業やカリキュラムの構成にも改革が必要になることでしょう。

しかしさらに大切な課題は、このような技術革新がもたらす影の部分にどう対応するかという問題です。バーチャル空間とフィジカル空間の一体化は人間の認知や認識、思考、感覚を一変させ得るものです。現実と非現実の区分が不明瞭になってきます。これはゲーム？それとも実生活？といった疑問も出てくるかもしれません。内閣府が描く社会は快適なものかもしれませんが、理想社会ではありません。かつて特定の社会構造が特定の社会問題に結びついたように、新たなSocietyは新たな社会問題を生むと考えられます。社会の変化に対応しつつ、社会の要請に応える女性の育成という本学の使命のために、本学は今後も前進し続けていかなければなりません。

## 後援会会長挨拶

仙台白百合女子大学後援会 会長 佐藤 幸一



仙台白百合女子大学学生保護者の皆様におかれましては、日頃から後援会活動に対するご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今後も、これまでと変わらぬご協力をお願いいたします。

さて昨今の国際情勢は英国のEU離脱に代表される混乱や対立の高まり、国内の経済活動においては政府から打ち出された「働き方改革」やAI、IoT、ビッグデータの成長など、ビジネスシーンを取り巻く環境変化が大きく、その周期は短くなっている状況です。

しかし、これまでの知見では想像のつかない新しい時代にこそ、人間としての自主性・自律性が求められており、人間の深い理解と援助を求める仙台白百合女子大学の教育が活かされるものと思います。

私たち仙台白百合女子大学後援会は、在学生保護者・大学教職員との連携を密に一致協力した活動を通じ、学生生活の向上、更には大学発展への寄与・会員相互親睦を図ることを目的として、2011年10月に設立されました。これまでの様々な取り組みにより、新しい時代に対応する学生が成長する場を育むために活動してまいりました。

後援会は保護者と教職員が協力して次の3つの作業部会を基本的活動として展開してきました。

### □大学連携部会

大学の奨学金、キャリア支援、学生の課外活動の充実などを支援

### □事業部会

保護者向け講演会の開催、卒業記念品贈呈や「白百合祭」参加など後援会独自事業を実施

### □広報部会

広報誌発行、ホームページ制作など

以上の通り、2018年度においても後援会活動を充実させることができたことは、共に活動に取り組んでいただいた各保護者理事と大学関係者のご協力の賜物です。

6月には後援会総会を予定しており、前年度の活動報告および当年度事業計画をお諮りするとともに、ランチを企画しています。また10月に予定されている『白百合祭』では、模擬店として参加するなどの活動を通じて日頃の学生の表情を垣間見る機会となりますので、ご協力をいただければ幸いです。

学生は社会への旅立ちに向けて、その翼を広げようとしているところであり、保護者の皆様におかれては、知識を学ぶ機会を設けていただくとともに、社会人へ成長する場づくりに携わる後援会の側面からも学生支援をお願いいたします。

保護者の皆様には、引き続き後援会活動へのご理解とご協力を賜りますとともに、後援会理事のお引き受けをお願いいたします。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

## 部会活動報告

### 第8回後援会総会 報告

第8回後援会総会が2018年6月16日（土）に仙台白百合女子大学講堂において開催されました。当日は、約110名の会員の方々にご出席いただきました。

議事に先立ち佐藤後援会長と矢口学長の挨拶がありました。その後、神田教授が議長となり、議案の審議が行われました。議案の2017年度事業報告、収支報告、監査報告、2018年度事業計画、収支予算、理事の選出については、全て原案どおり承認されました。

ご出席いただきました会員の皆様、理事の皆様にご心より御礼申し上げます。後援会の皆様におかれましては、今後とも本学の教育活動にご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

（大学連携部会 高橋 千恵子）



### 事業部会活動報告

講演会を開催いたしました。

開催日：2018年6月16日（土）

時 間：第8回後援会総会終了後11：30～12：30

場 所：仙台白百合女子大学 講堂

講 師：仙台白百合女子大学客員教授

阿部 芳吉 氏

演 題：「社会人としての生き方を考える」

阿部芳吉氏による講演では社会人としての生き方を大いに考えさせられました。後援会終了後に保護者の皆様には、学生食堂（ステラマリス）において健康栄養学科学生6名の手伝いもあり、1、2年生保護者分は大学、3、4年生及び後援会理事分は後援会負担でランチを無料で提供しました。健康栄養学科の学生さん達の明るい対応には保護者の皆様も大変喜んでおりました。

（事業部会 伊藤 淳美）

### 大学連携部会活動報告

大学連携部会では、「奨学支援」「課外活動支援」「キャリア支援」の各事業を通じ、学生に対する支援活動を行っております。

「奨学支援」では後援会から300万円を支出し、大学奨学金と一体運用して、経済的困難学生支援（9名）及び東日本大震災授業料減免支援（17名）を行っております。

更に、勉学奨励として、人間発達学科のセミナー・試験対策等、心理福祉学科の模擬試験・教材購入等、健康栄養学科の管理栄養士国家試験対策講座、グローバル・スタディーズ学科の各種資格検定・セミナー等、各学科が実施する事業に参加する学生への補助を行いました。

「課外活動支援」では白百合祭へ対する各種支援を行い、後援会自身も「炒飯」の模擬店を出し大好評を得ております。

「キャリア支援」ではSPI試験対策講座、公務員試験対策基礎講座、履歴書用証明写真撮影等、就職に向けた活動に対する補助を行っているところです。

これからも大学側との連携を深め、学校生活がより充実したものとなるよう、学生を支援してまいります。

（大学連携部会 武田 光由）

### 広報部会活動報告

広報部会は、今年度も後援会会報「shirayuri」の発行を主に活動しています。

広報部会では、大学・後援会各部会と連帯し、会員の皆様に後援会の活動内容をご理解いただくことを念頭に紙面作りをし、お届けしています。

「shirayuri」は1年に1回の発行のため広報部会の活動は年の後半の数ヶ月です。ほとんどは2ヶ月毎に開催される後援会の理事会や事業部会開催の白百合祭などに出席しています。

毎号大学構内のスタンドグラスで表紙を飾っていましたが、スタンドグラスの外にも目を引くモニュメントがあり、今号は「鐘」を紹介し、夕日を受けた趣が白百合らしいと広報部会いち押しの表紙になりました。

会報の発行につきましては大学側の大きい支えの基に成り立っており、今年度も円滑に発行することができました。学長はじめ快く寄稿していただいた学生・後援会各部会、大学職員の皆様の厚いご尽力・ご協力に感謝申し上げます。

（広報部会 林崎 扶美子）

## 事業活動報告

### 白百合祭に参加して

第53回の白百合祭は、10月27日（土）・28日（日）の二日間にわたって開催されました。学生による模擬店、部活の発表・展示等、それぞれ工夫を凝らしたもので、学生生活の一部を垣間見ることが出来ました。主催した実行委員の努力は、どれ程のものなのかと感心させられたと共に、その力を将来どのように発揮していくのかワクワクしています。



後援会からは、炒飯と飲み物の模擬店を出店させていただきました。炒飯は、ネギ油を使用したものをここ数年販売し、「とても美味しい。」と、ご好評をいただいています。「白百合炒飯」として根付いて来たように感じられ、嬉しく思います。チームワークの良さが心地よく、とても楽しい時間でした。

諸先生方、事務の方々、学生、そして地域の方々のご協力無くしては、開催が難しいことを実感することも出来ました。皆様に感謝申し上げます。

（事業部会 安保 かおる）

### 白百合祭御礼

10月27日、28日に第53回白百合祭が開催されました。今年の企画は、毎年恒例のもちまきやスタンプラリー、1日目は東京03・バオバブのお笑いライブ、2日目には客員教授加藤一二三先生のゲストライブなど盛りだくさんの企画をご用意させていただきました。ご来場のお客様をはじめ本学学生にも楽しい時間を過ごしていただけたことと思います。



私が白百合祭実行委員長として「大学祭」という大きな行事を仲間たちと共に無事に企画・実行し、開催できましたことは、後援会、地域の皆様、企業の皆様、大学の方々等の多くの支えがあったからと、改めて実感いたします。

後援会の皆様方には白百合祭開催にあたり、多大なるご支援・ご協力を頂きまして心より感謝を申し上げます。この場をお借りし御礼申し上げます。今後とも私達学生へご支援くださいますようろしくお願いいたします。

（白百合祭実行委員長 佐藤 寿々花）

### 国家試験対策講座のご支援について

私たちは、後援会よりご支援いただいている「国家試験対策講座」を受講しております。

対策講座は、国家試験の約1年前から始まり、定期的に行われる講座、数日間集中して行われる講座があります。

この対策講座では、試験合格のために欠かせない重要なポイントをとて分かりやすい板書やスライド、資料などを用いて、講義をしていただき、基礎分野の確実な理解につなげられることができました。また、講座中以外にも勉強法や試験に対する不安などの相談にのっていただき、前向きな気持ちで効率よく勉学に励むことができます。さらに、対策講座をきっかけに自主勉強への意欲も高まり、仲間と切磋琢磨しながら国家試験に向かって突き進むことができました。

最後になりますが、このような貴重な機会にご支援くださった後援会の皆様、ご指導くださいました先生方へ深く御礼申し上げます。今後とも幅広く活躍し、社会に貢献できる管理栄養士の育成のために後輩のためにもご支援のほどよろしくお願いいたします。

（健康栄養学科 久保 真彩）

### 補助金事業の御礼

後援会より中国語検定や中国語ランゲージカフェに補助金をいただいたことに大変感謝しております。私は、大学入学後に中国語に興味を持ち、2年次に中国留学をしました。帰国後も語学力を向上させるため、補助金をいただき中国語検定準1級を受験しました。準1級は難易度が高く、試験対策をするにあたって様々なテキストを使用することもあり経費がかかります。その中で、受験料を補助金から助成していただいたおかげで、負担も軽減され、万全の準備をして試験に臨むことができました。

本学では留学生や先生と実際に会話をし語学を学ぶことができるランゲージカフェというものがあります。私は、その活動を通して中国語を話すということが慣れ、自分の考えも中国語でしっかり述べるできるようになっていきました。それと同時に留学生との交流から中国文化についても詳しくなることができました。私がより一層勉学に励むことができたのも後援会の皆様のご支援があつてのことだと思えます。心より感謝申し上げます。今後とも未来ある後輩のためにもご支援賜りますようよろしくお願い致します。

（グローバル・スタディーズ学科 峯岸 麗奈）

## 課外活動支援報告

### 勉学奨励金への感謝

後援会の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私は子どもたちに希望をもって生き生きと生きてほしいという願いを抱き、小学校教員という夢を掲げて、教員採用試験での合格を目指し努力して参りました。教員採用試験は、出題される範囲が非常に広く、そのために参考書や問題集を複数冊買いそろえなければなりません。後援会からの援助金によって、複数冊の参考書をいただくことができ本当に助かりました。また、自分の実力がどの程度身につく、順位はどのくらいなのか、といった手応えを得るためには全国模試を受験する必要があります。後援会の費用をいただけたことで複数回受験することができ、自分が何をすべきなのかしっかりと把握し勉強を進めることができました。

後援会のご支援のおかげで、より一層夢に向かって勉強することができ、このたび仙台市で教諭としての採用の内定をいただくことができました。後援会の皆様には心から感謝申し上げます。今後とも後輩のためにもご支援賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

（人間発達学科 渋谷智果）

### 後援会補助金事業の御礼

私は、仙台白百合女子大学後援会より補助金をご支援いただき、精神保健福祉士国家試験対策の模擬試験を受講いたしました。

国家試験受験対策では、普段授業で使用している教材のほかに、参考書や問題集、苦手な科目や順位など視覚的に情報を得ることができる模擬試験、外部からの対策講座など多くの経費がかかります。しかし、後援会のご支援により、自己負担が軽減され、複数の模擬試験を受けることができました。受けた模擬試験を比較し、前回受けた模擬試験から自分のなかで成長できた科目、課題点など、合格に向けて重点科目や全国平均、順位を知ることができました。

このような貴重な機会をご支援くださいました後援会の皆様に、深く御礼申し上げます。後援会の皆様のご支援があったことで、夢に向かい、より勉強に励むことができました。福祉の担い手となる介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士を目指している後輩の育成のため、今後ともご支援くださいますようろしくお願ひいたします。

（心理福祉学科 柴崎 美玖）

## 大学からの報告

### 後援会理事募集について

大学は、保護者と教職員で組織される後援会から様々な大学の活動にご支援をいただいております。

支援内容は各部会報告でご案内しておりますが、主だった活動として各学科の学習支援や国家試験対策、大学祭、キャリア支援等が挙げられます。

2019年度の活動の企画・運営にあたり新年度理事を募集しております。活動は土曜日の午前中に年4～6回程度の理事会を開催し、各部会等の活動について協議いたします。任期は2年間です。

ぜひ、理事として学生及び大学の活動にご支援いただき、ご忌憚ないご意見を頂戴したいと思います。

問い合わせ先：後援会事務局（庶務課）

TEL 022-372-3254

### 学生支援について

大学連携部会「奨学支援」のご支援により、東日本大震災で被災され、家庭の経済的困窮により修学が困難な学生に対し「東日本大震災授業料減免」を行っています。2018年度は、17名の学生に対しご支援いただきました。

また、東日本大震災の資金と一体運用している「仙台白百合女子大学奨学金」では、学業成績が優秀で経済的に困窮している学生の9名に支援させていただきました。2019年度につきましても昨年同様募集をする予定です（募集については、掲示にて案内）。

また、大学独自として、各学科の成績優秀者に対し「学業成績奨励金」の給付。入学生に対しては、入学金の全額または半額を免除する「リエゾン・ファミリー」を設けております。

今後も後援会のお力添えをいただきながら学生支援を行っていきたく思います。

# 2019(平成31)年度 行事予定

前 期	
4月 2日(火)	入学式(仙台銀行ホールイズミティ21) 後援会入会式・特別講演会・保護者説明会
4月 6日(土)	白百合ウェルカムフェスティバル
4月 8日(月)	前期授業開始日
4月 15日(土)	後援会総会 1・2年生保護者会
6月 28日(金)	修養会
8月 5日(月)	前期授業最終日
後 期	
9月 19日(木)	後期授業開始日
10月 25日(金)	白百合祭準備(休講)
10月 26日(土)	白百合祭
10月 27日(日)	
10月 28日(月)	白百合祭代休
11月 9日(土)	就職に関する保護者説明会
12月 19日(木)	クリスマスミサ
12月 26日(木)	年内授業最終日
1月 6日(月)	授業再開
1月 20日(月)	後期授業最終日
2月 26日(水)	卒業判定結果掲示
3月 16日(月)	卒業感謝ミサ・同窓会入会式
3月 17日(火)	学位記授与式



## 仙台白百合女子大学後援会 2018(平成30)年度 理事名簿

	氏 名	担当部会
会 長	佐藤 幸一	大学連携部会
副会長	清水 恵子	大学連携部会長
副会長	伊藤 淳美	事業部会長
監 事	大友 由美	広報部会副部会長
監 事	武田 光由	大学連携部会
理 事	杉本 美樹	事業部会
理 事	林崎 扶美子	広報部会長
理 事	佐藤 牧子	大学連携部会副部会長
理 事	高橋 英恵	事業部会副部会長
理 事	遠藤 要子	大学連携部会
理 事	安保 かおる	事業部会
理 事	佐藤 幸也	大学連携部会
理 事	張間 和彦	広報部会
理 事	金澤 晃一	事業部会
理 事	安彦 恵美子	大学連携部会
理 事	後藤 昭子	事業部会
理 事	大地 久美子	広報部会
理 事	今野 芳子	広報部会
理 事	渡邊 博子	同窓会長
顧問	矢口 洋生	学長
理 事	小嶋 文博	大学連携部会/学部長
副会長	神田 あづさ	事業部会/健康栄養学科長
理 事	志水 田鶴子	事業部会/教学委員会
理 事	芳賀 茂	広報部会/事務局長
理 事	石岡 宏美	大学連携部会/事務局次長兼キャリアセンター長
理 事	高橋 豊	大学連携部会/事務局次長兼入試広報課長
理 事	佐藤 啓朗	事業部会/大学広報室長
理 事	堀籠 未来	広報部会/学生課長
理 事	高橋 千恵子	大学連携部会/庶務課長

## 編集後記

早いもので年度末を迎える三月になり、後援会報も無事に8号を発行することができました。ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。私が後援会に携わるようになって早いもので丸2年となりました。白百合祭にも参加させていただき、学生たちと共に楽しく過ごさせてもらったのも自分が学生時代に戻ったようで、とてもいい思い出になりました。保護者の皆様も、機会があれば大学へ足を運んでいただき、学生たちの楽しそうに学び、成長していく姿を見ていただきたく思います。私は次年度も理事のお手伝いをさせていただく予定です。美味しいチャーハンを作って、皆様のご来場をお待ちしております。(広報部会 張間 和彦)

## 仙台白百合女子大学 後援会ホームページ

活動内容が紹介されています。是非、ご覧ください。また、理事を募集しています。お引き受けいただける方は、後援会事務局(庶務課)までご連絡願います。

検索 仙台白百合女子大学 後援会

## 仙台白百合女子大学 寄付金のお願い

【目 的】 仙台白百合女子大学の教育・研究環境の整備充実のため

【使 途】 ① 教育・研究環境の整備  
② 奨学資金の充実  
経済的理由のため学業継続が困難である優秀な学生への支援  
東日本大震災における被災学生の授業料減免支援  
留学生支援

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

検索 仙台白百合女子大学寄付金の募集

## 後援会より卒業生へ 記念品贈呈

卒業生の皆さまに記念品といたしまして「ふくさ」をプレゼントいたしました。



テーマ:「時計台モニュメント」  
設置場所:中庭  
本学の守護聖人、使徒パウロの生誕2000年にあたる2008年の「パウロ年」に設置されました。  
鐘にはパウロの言葉「すべての人に対して すべてとなる。」(1コリント9章22節)が刻まれています。

(2008年度卒業生記念品)

## 仙台白百合女子大学後援会

〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号

TEL: 022-372-3254

FAX: 022-375-4343

E-mail: kouenkai@sendai-shirayuri.ac.jp